

第40号

発行 2006年
4月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会



ホームページ http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p

新年度を迎えて

事務局長 辻 登



満開の三桧

お陰さまで2月15日に開園三周年記念行事を終え4年目に入ることができました。これもひとえに地域住民の皆さま方のご理解とご協力あつてのものと感謝いたしております。

平成8年に始まりました古民家活用企画の提案から10年になります。この間公園事業にご参加いただきしております多くのボランティアの皆さまに支えられここまでやってまいりました。厚く御礼申しあげます。

新年度に入り管理運営の仕組みが変わります。昨年度の機構改革により、本郷ふじやま公園古民家ゾーンの所管は緑政局中部公園緑地事務所から環境創造局南部公園緑地事務所に変更となり、公園全体は栄土木事務所が所管することになりました。

また指定管理者制度が導入され、今までの委託業務を民間業者や幅広い団体に委ねることになりました。地区センターの施設などで管理運営者の公募がなされたように横浜市内にあります自然体験施設(舞岡公園・横浜自然観察の森など)や文化体験施設(長屋門公園・都築民家園・せせらぎ公園など)が指定管理者制度により運営が開始されました。本郷ふじやま公

園もこの指定管理者制度のもとに管理運営に携わることになります。

制度や仕組みは変わりますが、ご来園いただく皆さまには今まで以上に行事や体験を通じてお楽しみいただき、安心と憩いの場を提供出来るように努めます。またボランティアの皆さまにも楽しみながら活動できる場をつくります。

皆さま方のご意見を充分に聞きながら、楽しめる公園にするためしっかりと地に足を付けた活動を進めてまいります。ご支援宜しくお願いいたします。

＜関連記事2面＞

カラスも古民家が好き？

カラスが巣作りをしようと古民家の屋根の茅を抜取りました。この補修と飛来を防止するためのテグス張りが、3月21日クレーン車を使って実施されました。(写真右)



古民家活用の6つのねらい(案)

本郷ふじやま公園づくりは、平成8年10月栄区が自然を生かした公園づくりをするために「あなたのアイデアいかしませんか」と区民に呼びかけてスタートしました。

このときの「古民家活用企画委員会」と「いろり塾」が栄区とともに、この公園の古民家を「どう活用していくか」「利用しやすい施設にするためにどう整備していくか」などを検討して、次の「6つのねらい」にまとめました。

時代の流れに沿って、この6つのねらいを発展させて皆さまとともに楽しい公園にしたいものです。

ねらい1 憩いの場、地域の交流の場を生み出す



いろりで食べ物を
焼いたり煮たりする

- ・誰でも気軽に立ちよれ、ゆっくり憩える静かな場所にしたい
- ・いろりを囲んで飲食をしながら、語り合える場をつくりたい
- ・さまざまな世代、人生の出会いふれあう場にしたい
- ・地域活動にも利用できる施設にしたい

ねらい2 昔のくらしが体験できる場にする

- ・農業や自給自足の暮らしを体験できるようにしたい
- ・昔の1日を体験できるようにしたい

- ・自然を守り、生かす知恵を体験できる場にしたい
- ・昔の子どもの遊びを楽しみたい
- ・小学校などの体験授業を受け入れられるようにしたい



小学校の体験農業

ねらい3 ふるさとの歴史、文化を学び伝える



歴史文献、郷土資料を
収集・展示

- ・建物の知恵を学べるような施設をつくりたい
- ・地域の暮らしや歴史が学べる場所にしたい
- ・家具、農具等の収拾、展示を行いたい
- ・パソコン、ビデオ等を利用して情報提供などを進めたい
- ・歴史体験イベントなどを企画していきたい

ねらい4 手作りを楽しめる場にする

- ・ここでとれたもの、伝統の食文化をつくり味わいたい
- ・(できれば材料から育てる)クラフト活動のできる場にしたい

ねらい5 ふるさとの行事を育てる

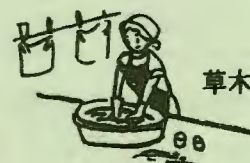


お月見

- ・地域の伝統行事を再現したい
- ・みんなで楽しめる、新しい年中行事を育てたい
- ・いろりばたで、昔語り・もの語りの会を催したい
- ・民俗芸能を習ったり、演芸を楽しめる場にしたい

ねらい6 里山を再生しながら、活用していく拠点にする

- ・雑木林を再生し、活かす活動を育てる
- ・里山の幸を楽しむ催しを行いたい
- ・水を発見し、生き物のいる水辺をつくりたい
- ・動植物などを知る、描く活動を育てたい
- ・里山活動した遊びの会を催したい
- ・自然を生かした子どもの遊び場をつくりたい
- ・草花を育てたり、緑を育む活動の拠点にしたい



草木染め、藍染



竹の間引き～竹の活用

* 教室訪問 *

植物画の巻 (3月13日、27日)

今回は春爛漫の中で描く植物画教室です。教室にお邪魔すると、すぐに真っ赤なツバキの花が目に入りました。



まず先生に植物画を描くときのポイントをお伺いすると、「実物どおりに描くこと。」「植物だけを描いて、花瓶などは描かないこと。」「バックは描かないこと。」と教えてくれました。花の雌しべも一つ一つ描いて、乾いたら重ねるのだそうです。

濃い色の置き方にこまっていた生徒さんに、先生は「濃い色をちょつと置いて、後は水筆で周りに延ばすとよいですよ。」とアドバイス。



生徒のみなさんはお互いに意見を言い合ったり、「頭ではわかっているけど」などと言いながらも、それぞれ目の前に置いたモチーフの植物に真剣な表情で取り組んでおられるのがとても印象的でした。

本郷ふじやま公園の春の花

ふじやま公園にも春がきて、たくさんの落葉樹が芽吹いて次々と花々を咲かせています。

◎庭の植栽

ウメ、ボケ、ミツマタ、レンギョウ、ユキヤナギ、ジンチョウゲ、ニワウメ、シャガ、ヒュウガミズキ、コデマリ、カイドウ

◎桜類の樹木

カンヒザクラ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、シダレザクラ

◎野草

フキノトウ、ツクシ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、タチツボスミレ、カラスノエンドウ

そのほかにニホンズイセンなども、可愛らしい花を咲かせています。

読者からの
お便り

栄区にお住まいの男性から暖かいお便りをいただきました。

前略・・・(略)・・・私、平成14年12月、65才になったのを機に翌15年1月より翠風荘を利用し、ここで『ふじやまだより』を創刊号より、毎号いただいて、楽しく読んでおります。早いもので3年余がたちました。今回の開園3周年記念特集号を手にして、あらためてバックナンバーを読み返してみました。本冊子の“バインダー”のようなもの(有料可)があったらいいですね。草々



ヒメオドリコソウ



カラスノエンドウ



キアジ



ホトケノザ

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください、お待ちしております

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
初心者茶道体験	5月13日(土) 13時～16時	古民家で茶道を体験してみませんか 男性のかたも お気軽にお越し下さい	500円	4月25日(火) 先着10名
作って遊ぼう ～子ども工作の日～	5月21日(日) 10時～12時 13時～15時	竹とんぼ	無料	申し込み不要 当日受付: 10時～11時 13時～14時
布ぞうり	5月28日(日) 10時～15時		300円	5月10日(水)
遊布	6月14日(水) 13時～16時	大人用の涼しげなベスト	1500円	5月31日(水)
和紙ちぎり絵	6月16日(金) 13時～16時	あじさい	1500円	5月31日(水)
刺し子 (全2回)	6月22日(木) 6月29日(木) 13時～16時	クッション	1500円	5月31日(水)
造形遊び	6月23日(金) 10時～12時 13時～15時	コケ玉づくり	1000円	5月31日(水)

(1) 持参品 : 返信ハガキで連絡します。 (2) 定員 : 12名。応募者多数のときは抽選。

(3) 応募要領: 往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号住所、
電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

* * 端午の節句祭りのお知らせ * *

期間 4月19日(水)～5月8日(月)

内容 期間中座敷に端午の節句人形を飾り、前庭に鯉幟を揚げ、お祝いをします。

5月7日(日)

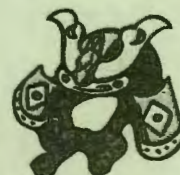
11時30分: 柏餅券販売 先着100名様(券一枚300円)

12時～13時 柏餅券を引替致します。

13時～14時30分 バトントワラー・チアダンス、
紙芝居などがあります。

ご家族でお出かけ下さい。入場無料

- ・開館時間: 9:00～17:00 ・入館料: 無料
- ・休館日: 5月は休館いたしません、開園しております。
- ・クリーンアップ作業: 16日(火) 10時～11時



◆本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL:896-0590 FAX:896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。